

# Campus News

[ キャンパスニュース ]

2022. 1  
Vol.59

30<sup>th</sup>

1991→2021  
静岡理科大学開学30周年

## 【特集】

- 開学30周年記念式典を開催
- 4月に理工学部土木工学科を開設
- JST主催の「STI for SDGsアワード」で優秀賞を受賞
- withコロナの学生生活 サークル・部活動で活躍する理工科大生



## ■ 開学30周年記念式典を開催しました

昨年11月16日(火)、ホテルクラウンパレス浜松(浜松市)で、静岡理科大学 開学30周年記念式典を開催しました。式辞として、野口博学長が「専門性と人間力を身につけた総合力のある人材を育成し、地域社会へ更なる貢献を目指していきます」と、30周年を迎えた本学の抱負を述べました。

はじまりを、つくる



静岡理科大学





# 学長挨拶

県内大学や企業との連携での多様な地域貢献強化を

学長 野口 博

昨年11月12日(金)、磐田市などが主催した「産業振興フェアinいわた」で、静岡産業大学、県立農林環境専門職大学と本学の近隣3大学学長および、草地博昭磐田市市長の座談会が行われ、各大学の強みを生かした地域や企業との連携などをテーマに意見交換しました。

私からは、昨年4月に袋井市などと本学が連携して開設した「ふくろい産業イノベーションセンター」について紹介し、「大学と企業、企業同士のつながりを促進し、高い付加価値創出を目指して多様な連携を図っていききたい」と述べました。

農林環境専門職大学の鈴木滋彦学長は、農業ビジネス経営体の中核となり得る人材育成の使命を強調し、「教育内容について、産業界からも意見をいただいている。『未来の農業連携懇話会』を通じた研究も進めて行く」と語られました。

静岡産業大学の鷺崎早雄学長は、「マーケティングやデータ分析など、企業と多様な関わり方で地域貢献ができれば」と語り、起業やイノベーションに関心のある学生にも期待したいと述べられました。

草地磐田市市長は、「大学の知見を行政の課題解決に活かして行きたい。学ぶ場としても協力をお願いしたい」と述べられました。

本学は開学30周年を迎え、昨年11月16日(火)には、開学30周年記念式典も挙行了しました。

青年期の上り盛りの静岡県唯一の私立理工系総合大学として、「農・工・商」をそれぞれ担う上記の各大学間を、建学の理念にもある「やまいか精神と創造性」の、強い魂と意志を持つ、いわば「武士の心」で、多様な大学・企業・人を持続的に強く繋げ、地域に貢献していきます。また、従来の「産官学」だけではなく、銀行や信用金庫などの「金」、市民や労働者の「民」、さらには、テレビ、新聞、Webのメディアの「言」を加えた「産官学金民言」の新たな形で連携し、本学が得意とする「データを科学して、工学を通して、ビジネス課題を解決するデータサイエンス」で、自分たちのまちづくりを手掛ける人材を育成していきます。

## 遠州灘

この原稿を執筆した2021年11月上旬、コロナ禍もようやく終息の兆しが見えた。と、希望的な観測をしてしまいたくなる状況です。自転車通勤の筆者としては、冬が来ると、あの強烈な風が吹きすさぶと思うだけで憂鬱になりますが、これも脚を鍛えるチャンスと前向きにとらえることにしております。よく環境対策としてEVやFCVへの移行が叫ばれておりますが、筆者に言わせれば、そんなに石油燃料を使いたくなければ自転車を漕げば良いのです。健康にもなれて一石二鳥です。実際、自転車大国のオランダの道路は、自動車よりも自転車に乗りやすいように作られています。段差もなく、障害物もない、そんな歩行者と自転車にやさしい街づくりを我が国もしてほしいものです。趣味人の愚痴でした。(N)

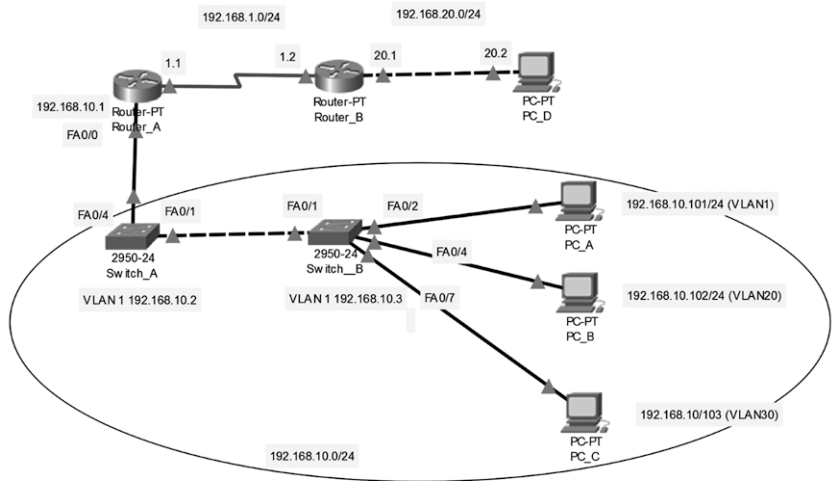
## 授業の紹介

### ■ コンピュータネットワークC コンピュータネットワークD

ネットワーク構成やサイバーセキュリティについて理解を深めながら修得する科目です。コンピュータネットワークは、IoT、ICT社会にとって切り離せない分野です。しかしながら、ネットワークを利用したサイバー攻撃・犯罪（データ改ざん、個人情報入手、不正侵入など）が増えてきています。コンピュータやネットワークの基本知識を身につけるとともに、サイバー攻撃に対抗するための基礎知識を実践的に得ることを目標としています。

この授業では、世界最大のネットワーク機器開発会社Ciscoが提供する教育コンテンツCisco Networking Academy「Cybersecurity Essentials」も合わせて利用します。全て終了すると修了書を得ることができ、一定の情報セキュリティに関する知識があることを証明することが可能となり、就職にも役立つと考えられます。

担当教員：コンピュータシステム学科 教授  
水野 信也



```
BHM(config-if)#end
BHM#
%SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console

BHM#
BHM#ping 192.168.1.1

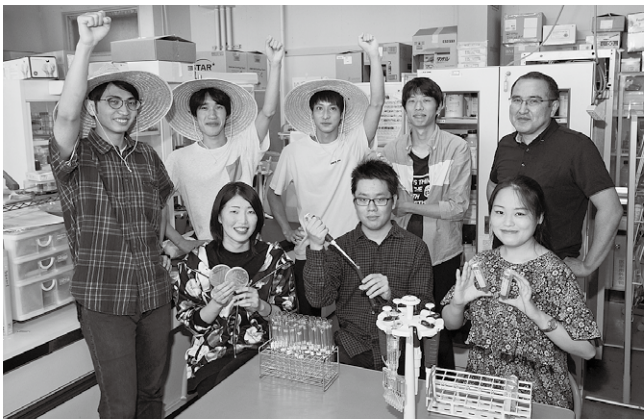
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 192.168.1.1, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max - 0/0/1 ms
```

## 応用微生物学研究室 (物質生命科学科)

## おじゃまします。

### 研究室訪問

### 第47回



森、林、畑、水田に関わらず、土には多種多様な微生物が棲んでいます。土に棲む微生物は、植物に栄養を与える働きをする一方で、時には植物に病気を引き起こします。私たちの研究室では、微生物が植物に栄養を与える過程（有機物の無機化）と、土壌が植物の病気を抑える働き（発病抑止）に興味を持ち、それらの仕組みを解き明かすべく、研究しています。例えば、カニ殻の成分でもあるキチンについて、無機化（アンモニア化）を担う鍵微生物とその生態的機能を解明することと、キチンの発病抑止（病害低減）効果の仕組みの解明に取り組んでいます。土壌から微生物を分離して培養したり、DNAの情報を解析したり、土壌中の特定の有機物や窒素化合物の検出・定量をしたりしています。

### 研究室学生からひとこと

坂間 棕介 さん (理工学研究科材料科学専攻2年)

本研究室は微生物細胞が持つ機能や微生物が作り出す有用物質を有効活用するための基礎研究や応用研究をしています。私は、微生物の細胞壁成分に着目した土壌微生物バイオマスの新規推定法の開発を行っています。微生物の培養を始めとして、遺伝子やタンパク質の解析、分析機器を用いた分析など、様々な技術を駆使して日々研究に励んでいます。研究を通じて、論理的に考え伝える力や問題解決力など、就職してから必要となる力を身につけることを重要視し、学生一人一人が自律して活動しています。

### 研究室担当教員

齋藤 明広 先生

#### ■プロフィール

千葉県多古町出身、静岡市在住。佐原高等学校卒業後、東北大学農学部卒、筑波大学大学院農学研究科修了（博士（農学）（1999年））。千葉大学園芸学部教員等を経て、2010年静岡理工科大学に着任、2018年より教授。専門は土壌微生物学。学内外で微生物教育を担当。2021年には「エッセンシャル土壌微生物学 作物生産のための基礎（講談社）」の出版に著者として貢献。袋井市社会教育委員、袋井市畜産環境対策協議会委員、アグリニクス研究会代表幹事。



# 静岡理科大学 開学30周年記念式典を開催

昨年11月16日(火)、ホテルクラウンパレス浜松(浜松市)で、開学30周年記念式典を開催しました。

式典では、野口博学長、藤浪和夫常務理事から挨拶を行った後、大場規之袋井市長、鈴木与平鈴木与株式会社代表取締役会長からご祝辞をいただきました。その後、記念講演として、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 技術戦略研究センター サステナブルエネルギーユニットの二木栄ユニット長より、「カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーイノベーション」をテーマにご講演いただきました。カーボンニュートラルに向けた国内外の動向や、再生可能エネルギーや水素、電力ネットワーク



▲基調講演を実施していただいた  
NEDOの仁木氏



▲地域創成フォーラムで講演を行った  
富樫教授

などのエネルギー技術のイノベーションについてお話しされ、産業界に向けて「カーボンニュートラルを成長の機会として捉え、新しい技術に積極的にチャレンジしてほしい」とメッセージをいただきました。

記念式典の終了後には、同会場で地域創成フォーラムを開催しました。今回は、対面とオンラインの並行開催とし、第1部および第3部で本学教員による研究活動紹介、第2部で野口学長より本学の活動紹介を行いました。また、その後、参加する企業と本学教員の個別相談会を実施し、企業が抱える課題などについて、専門知識を持つ本学の教員と意見交換をしました。本フォーラムにはオンライン参加者を含め131名に参加していただきました。

## ■第1部 研究活動紹介

講演者	テーマ
土木工学科設置準備室 教授 <b>中澤 博志</b>	地震防災技術 ～地盤の液状化判定から対策まで～
電気電子工学科 准教授 <b>本良 瑞樹</b>	Society5.0と無線IoTデバイス
コンピュータシステム学科 教授 <b>富樫 敦</b>	ディープラーニングによる画像認識・検出とその応用 ～ガス事業分野、健康分野を例に～

## ■第3部 研究活動紹介

### 〈カーボンニュートラル・DXへの挑戦〉

講演者	テーマ
機械工学科 准教授 <b>黒瀬 隆</b>	軽量部材を目指した貝殻真珠層を模倣する高分子複合材料の開発
建築学科 講師 <b>鍋島 佑基</b>	ビルオートメーションと脱炭素
電気電子工学科 教授 <b>美馬 一博</b>	メカトロニクス・ロボティクス技術の生活支援・産業への応用
コンピュータシステム学科 講師 <b>山岸 祐己</b>	複雑なデータにおける単純な分布表現とその定量的評価

### 〈SDGsへの取り組み〉

講演者	テーマ
機械工学科 教授 <b>吉見 直人</b>	鉄鋼材料(薄鋼板)の表面処理技術
機械工学科 准教授 <b>牧野 育代</b>	生命とは何か ～単細胞生物誕生38億年後における生命現象の画期的展開～
物質生命科学科 准教授 <b>高部 稚子</b>	健康寿命の延伸を目指して ～生体ストレスによる細胞応答と食用植物の機能性～
情報デザイン学科 准教授 <b>谷口 ジョイ</b>	衰退・消滅の危機にある静岡方言 ～秘境・井川村での調査に基づいて～

## 4月に理工学部土木工学科を開設

昨年8月に、文部科学省に申請していた理工学部土木工学科設置に伴う定員増が認可され、今年4月の土木工学科開設が正式に決定しました。2017年度に開設した建築学科に続き、静岡県内では初の土木工学科となります。

日本のほぼ中心に位置し、海岸線と高い山々に挟まれ、大きな河川も流れる静岡県で、防災・減災の在り方や、人々の生活の質を高める都市計画や地域計画、自然環境との融合や生活環境を考慮した社会基盤整備などに求められる技術や理論を学びます。

### 取得可能な資格

- 卒業とともに得られる主な資格  
➔測量士補
- 卒業後、実務経験で受験資格を得られる主な資格  
➔2級土木施工管理技士

### 卒業後の進路

- 建設会社の土木施工管理技士
- 鉄道会社、電力会社等のエンジニア
- 公務員(技術職)
- 大学院進学 などを目指します。

## 本学土木工学科の特色

### ① 情報技術を活用した“新しい土木”を学ぶ

GPS、人工衛星、人感センサ、AI、ドローン、3D解析、自動操縦などの最新技術を活用した“新しい土木”の教育を行います。

### ② 静岡県だからこそ学べる防災・減災

静岡県は鉄道・湾岸・空港を完備した交通の要所であり、大規模な災害発生時には日本全体に大きな影響を与えます。橋や道路など社会基盤の老朽化や災害時の地域防災教育に取り組みます。

### ③ フィールドを使った教育で行動力を養う

富士山をはじめとした高い山々と海岸線が東西に続く静岡県をフィールドとしたプロジェクト科目で、広範な視野と能動的な行動力を育成します。



▲土木工学科棟(仮称)の建設状況(昨年12月22日撮影)



土木工学科棟(仮称)の完成予定図(10月完成予定)



# 特集 JST主催の「STI for SDGsアワード」で優秀賞を受賞

高知大・宮崎大と共同で、土木工学科設置準備室・中澤博志教授の「蛇籠」技術の研究が評価

本学 土木工学科設置準備室 中澤博志教授および高知大学、宮崎大学が形成する研究グループによる“防災と環境を両立する「蛇籠技術」の普及に向けた機関横断型の取り組み”が、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) の主催する「STI for SDGsアワード」で、優秀賞を受賞しました。

この取り組みは、伝統的土木技術「蛇籠(じゃかご)」を定量的に評価し、耐震性に優れる資材や設計・施工工法を特定するとともに、安価、簡便で環境負荷の少ない耐震補強技術として国内外への技術普及を実施したものとします。選考委員会から、古来の技術を見直し、評価・検証した持続可能性に優れる取り組みである点や、高い技術力が不要で住民参加型の活動となり得る点、今後頻発が予想される水害や土砂災害等の気象災害に対してレジリエントな対応力を持つ点などが評価され、受賞となりました。

中澤教授は、クラウドファンディングや(公財)戸田育英財団の助成等により、蛇籠による耐震補強技術を理論的に解析し、東南アジアなどの開発途上国で技術を展開するなど、蛇籠の研究および活用の取り組みを継続的に行っています。一連の研究経緯は、クラウドファンディングを紹介している以下のURLで閲覧可能です。

URL : <https://readyfor.jp/projects/NIED001/announcements>

アクセスはこちらから▶



▲技術指導を行ったネパールでの中澤教授



## 特集

### withコロナの学生生活 サークル・部活動で活躍する理工科大生

2020年初頭から続く新型コロナウイルス感染症の流行により、講義がオンライン化するなど、大学生活にも大きな影響を与えています。サークルや部活動の活動も大きく制限されてきましたが、そんな中でも活躍する学生の活動の一部を紹介します。

#### 自動車部 SIST Formula Project

2020年の学生フォーミュラ日本大会が中止決定以降、2021年大会に向けて車両開発を続け、車両に搭載するモータやインバータを更新するなど、全体設計を変更しました。昨年9月7～11日に小笠山総合運動公園エコパ(袋井市)で開催が予定されていた大会は、緊急事態宣言の影響で、オンラインによる静的審査(書類・プレゼンによるコストやデザイン等の審査)のみとなり、EV部門で12チーム中5位となりました。動的審査(実際の走行による加速や車体制御性能等の審査)の代替イベントとして10月31日(日)にエコパで実施された公式記録会では、完走できませんでしたが、来年度の大会に向けて機体の設計を開始し、更なる成績向上を目指します。



▲公式記録会に挑む自動車部

#### 硬式野球部

昨年3月27日から5月9日にかけて行われた2021年静岡学生野球春季リーグ戦では、3勝11敗で8チーム中6位タイと、過去最高に並ぶ結果となりました。個人成績では、小池剛志選手(遊撃手・機械工学科3年)が打率.364の成績を残し、ベストナインに選出されました。また、9月19日から10月9日にかけて行われた秋季リーグ戦は、通常の14試合(8チーム参加2回戦総当たり)から6試合(7チーム参加1回戦総当たり)に短縮されたものの、本学硬式野球部は3勝3敗で、創部以来最高の4位という結果を残しました。



▲過去最高結果を残した野球部

# Message for S.I.S.T. [大学へのメッセージ]

## 建築：土木技術者に期待する

一般社団法人袋井建設業協会 会長  
株式会社鈴恭組 代表取締役 **鈴木 和男 さん**



袋井建設業協会は昭和23年に創設され、現在、中東遠地域54社の建設会社により構成され、建築・土木工事を専門に施工しております。

近年、国内で多発する大規模な自然災害対策として、国土強靱化計画が打ち出され、河川機能強化・土砂災害防止・道路整備など、多くのインフラ整備事業が推進されています。

この事業に対応する当協会会員企業では、多くの優秀な技術者を必要としておりますが、いくつかの企業にSISTの第1期建築学科卒業生が就職し、将来の戦力として大きな期待を寄せています。

また、来年度に開設される県内初の土木工学科にも多くの期待が寄せられているところです。

建設業界もICT化による生産性向上や働き方改革、安全施工など環境改善が進んでおり、今までの3Kから新4K（給料・休暇・希望・きれい）の実現を目指して取り組んでいます。

会員一同、地元の大学から地元の建設会社に入職される卒業生が一人でも増えることを期待しております。

## 大学と連携した活性化

袋井商工会議所商業部会 部会長  
有限会社おしゃれの店村松屋 代表取締役社長 **鈴木 直人 さん**



袋井商工会議所は、袋井市と静岡理工科大学が中心となり、商工団体や金融機関と連携し、地元の中小企業の成長を支援する「ふくろい産業イノベーションセンター」に参画をしています。

昨年12月に、商業部会として理工科大学を訪問させていただき、環境・施設等の素晴らしさを体験いたしました。商業部会は「ものうり」が主体であり「ものづくり・研究」とはどうしても縁が薄い立場なのかなと感じた一方、商工会議所には他に工業部会等、様々な部会がありますので静岡理工科大学との連携は深まると思います。

2年程、コロナ禍にて中止となっておりますが、以前「遠州の花火大会」で、学生の皆様に大会PRのお手伝いをさせていただきました。まだまだコロナ感染症脱却への出口ははっきりしませんが、地元のにぎわい活性化のお手伝いを宜しくお願い申し上げます。

## 役職者紹介

2021年10月1日現在

### 【大学評議員】

学長	野口 博
副学長・研究・産学官連携統括	小澤 哲夫(教授)
理工学部長・教育統括	石田 隆弘(教授)
情報学部長	幸谷 智紀(教授)
機械工学科長	佐藤 彰(教授)
電気電子工学科長	土肥 稔(教授)
物質生命科学科長	宮地 竜郎(教授)
建築学科長	丸田 誠(教授)
土木工学科設置準備室 主任教授	松本 健作(教授)
コンピュータシステム学科長	國持 良行(教授)

情報デザイン学科長	富田 寿人(教授)
学生部長・学生支援統括	関山 秀雄(教授)
入試広報・大学広報統括	山崎 誠志(教授)
事務局長	下田 修

YES長 兼	
やらまいか創造工学センター長	服部 知美(教授)
工作センター長	三林 雅彦(教授)
先端機器分析センター長	齋藤 明広(教授)
情報教育研究センター長	水野 信也(教授)
教育開発センター長	本井 幸介(准教授)
国際交流センター長	佐藤 健司(教授)

※YES：やらまいかエディケーションサイト



## サイバー防犯ボランティア委託式

昨年7月16日(金)、本学にてサイバー防犯ボランティアの委託式が実施されました。静岡県警からの委託を受けた学生19名は、今後インターネット上の有害情報の発見・通報や、インターネットを安全に利用するための啓発活動を行います。委託式を終えた学生たちは、「フィッシング詐欺などのサイバー犯罪による被害がなくなるよう貢献したい」「大学での学びを活かし、有害サイトを発見したい」と今後の活動に向けた意気込みを語ってくれました。



## パラリンピック袋井市聖火採火式

昨年8月16日(月)、さわやかアリーナ(袋井市)で実施されたパラリンピックの採火式において、物質生命科学科の山崎誠志教授が作製した着火装置で起こした火が採火されました。着火された火は市内のパラスリート4名が持つキャンドル(袋井特別支援学校の生徒が作成)に届けられ、キャンドルから点火台、点火台からランタンへと移されました。火は採火式の翌日に、静岡市で実施された集火式に届けられました。



## 市民体験入学

昨年8月28日(土)、市民体験入学を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、静岡県内で緊急事態宣言が発令されたため、Zoomによるオンライン開催としました。全体講座では慶応大学医学部教授の伊藤裕氏に、「『幸福寿命』腸内細菌が導く幸せ百年人生」をテーマにご講演いただきました。選択講座では、土木工学科設置準備室の中澤博志教授と情報デザイン学科の林章浩教授が講座を行いました。



## 地域学

昨年10月5日(火)、本学にて「地域学」の表彰式を行いました。「地域学」は袋井市との包括連携協定の取り組みの一環として、袋井市のまちづくりについて考える授業です。参加した学生が4~5人のグループに分かれ、市の職員と共に市の特徴を生かした具体的な政策を提言します。本年度はお茶の振興をテーマに実施し、市長賞には「高級・ブランド化」が、学長褒章には「お茶産業の大規模化」が選定されました。



## リカレント講座

藤枝イノベーション・commons(藤枝市)で、リカレント講座「学び直しの力~現場力の向上を目指して~」を開催しました。昨年10月14日(木)に開催したキックオフセミナーを皮切りに、10月から11月にかけて、「データを分析する力」、「無人航空機がもたらす力」、「脱炭素社会に向けての提案」、「食の安全を管理する力~HACCPを通して~」の4回を実施し、今年3月には「デジタル化推進によって目指すこと」をテーマに実施します。





## 第2回公開講座

昨年10月16日(土)、「次世代モビリティ用エネルギーを考える～自動車の将来～」をテーマに、令和3年度第2回公開講座をオンラインで開催しました。(国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門 エンジン燃焼排気制御グループ 主任研究員の木下幸一氏と機械工学科の野内忠則准教授が講演を行い、聴講した71名の参加者からは「カーボンニュートラル社会に向け、エンジン・電気のどちらの技術も重要なことが分かった」などの感想をいただきました。



## ひらめき☆ときめきサイエンス

科研費助成事業の理科体験教室イベント「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しました。昨年10月16日(土)には物質生命科学科の南齋勉准教授が「走れ化学ロボット! いきものように走る油滴をつくろう」、11



月6日(土)には小土橋陽平准教授が「湿度や光で変身! 不思議なプラスチックに触れてみよう」、11月27日(土)には機械工学科の十朱寧教授が

「超音波を使って環境にやさしい燃料BDFを作ろう!」をテーマにそれぞれ実施しました。3日間合計で36名の中高生が参加し、「非平衡界面化学について知れて、楽しかった」、「プラスチックが色んなところで使われて、役に立っていることがわかった」、「バイオ燃料でエンジンを動かすのが見られてよかった」などの感想をいただきました。



## 大学祭

昨年10月23日(土)、大学祭実行委員会主催の大学祭SISTIVALを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、1日のみの開催とし、来場者は学生および学生の保護者、大学教職員のみ限定しての開催となりました。アカデミックプラザに設置された特設ステージではSIST Juicy JAZZ ORCHESTRAによるプラスバンド演奏やフリースタイルフットボールのステージ披露、軽音楽同好会によるライブが行われるなど、活気のある大学祭となりました。



## コミセンDEお理工塾

昨年10月30日(土)および11月13日(土)に、学生団体「お理工塾応援隊」のメンバーが講師となり、小学生対象の理科実験イベント「コミセンDEお理工塾」を袋井市内のコミュニティセンターで実施しました。「電気ってなんだろう」、「身近な物からガリレイ式望遠鏡を作ってみよう!」をテーマに実験講義を行い、参加した子どもたちからは「発電のしくみが分かって楽しかった」、「レンズで見ると遠くのものが見れて面白かった」などの感想があげられました。



# 入試広報NEWS

## ■受験生ではないあなたにも。静岡理工科大生のリアルな学生生活をご紹介します。

本学の2020年度卒業生の実就職率は95.2%で、静岡県内大学で1位、全国の工科大で8位にランクインしています(引用元:株大通信発行 大学探しランキングブック2022)。そんな高い実績を得られた要因を感じられるウェブコンテンツ「学生Voice」をご案内いたします。このコーナーでは在学生のリアルな学生生活にフォーカスし、様々な学生の素顔を発信しています。研究に没頭している学生、サークル活動を愛する学生、コンテストで入賞した学生、学生の就活体験談など、学生の実体験をベースに毎週、記事を更新しています。気になった方は「理工科大 学生Voice」で検索してみてください。

「学生Voice」は静岡理工科大学ホームページの「受験生サイト」で公開しています。こちらでは、入試ガイドやイベントのご案内以外にも、理工系学生のキャンパスライフや教員の研究紹介など、受験生以外の方にも楽しんで読んでいただけるコンテンツをいくつもご用意しております。大学の魅力を感じてもらえるような心躍る内容が盛りだくさんですので、ぜひご覧ください!

学生Voiceへの  
アクセスはこちらから▶



### 学生Voice

<p>学生Voice ♥ 求めているデザインをしっかり と捉えその上に自分自身の想いを込</p>	<p>学生Voice □ 自分で決めるキャリア・人生 就活を通して描いたビジョン</p>	<p>学生Voice     表現・発想・デザインを支えて いく構造設計</p>
<p>学生Voice ◎ サークルをつくり、同志とやり たいことをやりつくす</p>	<p>学生Voice ◎ 【硬式野球部】楽しむ×本気× 考える+仲間=成長</p>	<p>学生Voice □ 情報メディアの世界に飛び込 み、興味を追い続ける</p>

## ■静岡理工科大学の「すごい」「研究力」を5感で感じよう!!

### ★次回の進路イベントの日程

#### ●春休み大学見学会 3月24日(木) (詳細なスケジュールは確定後、受験生サイトに掲載します)

内容: 学科説明、研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など

※イベントの内容は変更となる可能性があります。詳細や参加申し込みは、本学受験生サイト (<https://www.sist.ac.jp/navi/>) からどうぞ!



## 活躍する卒業生

中菱エンジニアリング株式会社  
航空宇宙事業部 防衛航空機・宇宙技術部  
構造設計室

### 三浦 康彰 さん

(機械工学科 第25期卒業生)

私は飛行機について勉強したいと思い、静岡理工科大学に入学しました。大学では、機械工学科の航空工学コースに所属し、基本的な機械設計の知識や航空機設計の基礎につながる知識を学びました。サークル活動では鳥人間サークルに所属し、大学の授業等で学んだ航空機設計の知識を用いて機体設計や製作に取り組みました。また、鳥人間サークルではサークル活動を通して、航空機開発の流れ(基本設計、詳細設計、機体製作及び飛行試験等)を学ぶことができました。

現在仕事では戦闘機のASIP (Aircraft Structural Integrity Program: 航空機構造保全管理)を担当しています。ASIPでは、運用により、どの構造部位にどの程度疲労が蓄積しているかを評価し、適切な検査時期等を検討する作業を行っています。

このASIPでは大学で学んだ航空工学、材料力学及び構造力学の知識等が必要であり、さらに破壊力学と損傷許容設計の知識を用いて様々な検討を行います。そのため大学4年間で経験してきたことが糧となり、会社生活で日々の業務を遂行するのに役立っていると実感しています。

今後は開発が進められる次期戦闘機について、基本設計から詳細設計の開発設計段階から設計業務に携わっていきたくと考えています。



## 人事異動

令和3年10月1日付採用



コンピュータシステム学科  
教授

**足立 智子**

**専門分野** 代数学、数学基礎・応用数学

**略 歴** 慶応義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了。東邦大学 理学部 教授を経て、本学教授に就任。

**趣 味** 読書、茶道



土木工学科設置準備室  
主任教授

**松本 健作**

**専門分野** 防災工学、河川工学、水工学

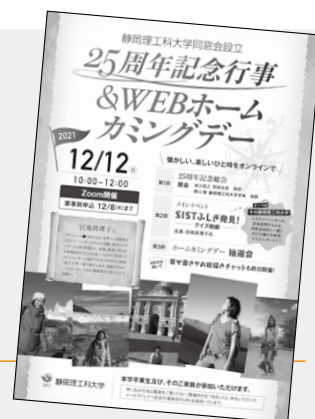
**略 歴** 熊本大学大学院自然科学研究科博士後期課程単位取得退学後、同大学院で博士(工学)を取得。群馬大学大学院 理工学府 助教を経て、本学主任教授に就任。

**趣 味** 読書、武術

同窓会  
だより

## 同窓会25周年記念総会を開催しました!

昨年12月12日(日)に、同窓会25周年記念総会を開催しました。当日は、WEBを用いて開催し、久しぶりに同窓生間のコミュニケーションを図るイベントを実施することができました。そして、全国のSIST同窓生の皆さん、新たな同窓会活動にご期待ください。



## 同窓会各種SNSのお知らせ

同窓会活動をWEBや対面にて実施していきます。情報発信は、同窓会公式LINE@にて先行して情報発信しますので、皆さん【友だち登録】をお願いします!

同窓会  
HP



後援会  
だより

## 保護者懇談会の開催

昨年10月23日(土)に「保護者懇談会」を学内で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況が未だに予断を許さないことから、今年度については「学長挨拶、後援会長挨拶、学科別懇談会」をWEB上でのオンデマンド動画配信、「個別面談」をZoom(※一部希望者へは対面)にて開催しました。学科別懇談会の動画では、各学科の教員紹介や授業の様子、カリキュラム、学生成績、就職状況等について説明があり、個別面談では、修学状況や就職活動状況、学生生活等を助言教員と直接相談ができる機会となりました。



▲動画内で挨拶を行う野口博学長

受賞者の皆さん  
おめでとうございます。

## 令和3年度 学生表彰

優れた活躍や学生の模範となる顕著な成績を上げた学生の表彰を行いました。受賞者は次の通りです。



**理事長表彰** 津田 悠太 さん (建築学科2年)

第5回世界ろう者水泳選手権大会  
男子200mバタフライ1位

**学部長表彰** 松島 大士 さん (情報デザイン学科4年)

中部クリエイターズクラブ  
ポスターコンペティション入選

**学生部長表彰** 小池 剛志 さん (機械工学科3年)

静岡学生野球春季リーグ戦表彰  
ベストナイン賞 (遊撃手)

**奨励賞表彰** 寺分 元則 さん (理工学研究科システム工学専攻2年)

中部クリエイターズクラブ  
ポスターコンペティション優秀賞

池宮 康清 さん (理工学研究科システム工学専攻1年)

2020年度日本建築学会東海支部研究集会  
学生優秀学術講演賞



## スポットライト がんばる理工科大生

菅沼 美季 さん (理工学研究科システム工学専攻2年)



私は生体情報計測研究室に所属しており、簡便に計測できる医療・福祉機器の開発を行っています。システムを実現するために、セン

シング技術や信号を取り出すための回路設計、得られた信号を解析するプログラミングを身に付けています。

研究したことは、学会に参加して発表を行ったり、研究以外にも模擬講義を実施し、スマートフォンから制御を行う口



ボットカーや、酸素飽和度を計測する実験の指導を高校生に行なったりしました。大学入学前は、人前に立つことが苦手でしたが、このような経験を積み重ねることにより、コミュニケーション能力や人に考えを伝える力が身に付きました。

そして今では、開発したシステムを実際の医療・福祉施設に設置し、臨床試験を実施して、医療スタッフの方や患者さんに、成果をフィードバックするまでになりました。自分が開発したシステムが、患者さんや医療スタッフさんの安心に寄与できるものとなり、皆さんに大変喜んで頂けました。

モノづくりだけではなく、コトづくりの重要性を学んだことを活かし、今後もシステムを利用する人が安心・喜べるものを開発していきたいです。

### 編集後記

ワクチン接種により収束するかに見えたCOVID-19は、オミクロン株という新たな変異株の出現で、未だ先が見えない状態です。そんな中でも、本学30周年記念式典開催、2022年度からの理工学部土木工学科のスタート、そして何より嬉しい学生の活躍を掲載できたことは、幽霊編集委員としても喜ばしい限りです。昨日よりは今日が、今日よりは明日が少しでも明るくなるよう、日々の行いに真摯に向き合おうと、初日の出に向かって合掌しました。それと、今年は良きお花見が出来ます様に…と。(K)

### 静岡理科大学キャンパスニュース

令和4年1月31日発行

企画・編集・発行 / 静岡理科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

<https://www.sist.ac.jp> E-mail:shakai@sist.ac.jp

